

八十里越が開通すると…



通行不能区間が解消します

国道289号の三条市から福島県只見町に至る県境部分が「八十里越」であり、現在でも県境部分19.1キロメートルは一般車両が通行できない「通行不能区間」です。
八十里越が整備されることで、通行不能区間が解消され、三条市と只見町間の所要時間が78分（約50%）短縮されます。

地域間の交流や連携に寄与します

通年でのアクセスが可能となり、広域間の利便性が向上し、新たな交流や連携に寄与します。

救命救急体制が向上します

現在は総合病院がない只見町の人も新潟県側の高度医療が受けられるようになり、救命救急体制の向上が期待されます。



工事の進捗状況

5号橋梁の建設の様子

八十里越事業では、冬場は積雪のため、作業ができるのは5月から11月までの約7カ月という短い期間です。最長の5号橋梁（延長337メートル）は、平成26年度から現地での作業に着手し、令和4年度に概成しました。地上から約80メートル以上ある橋脚は、完成すると新潟県内では一番高いものになります。

写真提供 国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所



工事着手前 平成21年11月



工事中 平成30年5月



令和元年9月



令和2年11月



令和5年11月

建設課
☎34-5713



時空を超えて つながる 八十里越

令和8年秋から令和9年夏の暫定開通を目指し、工事が大詰めを迎えている国道289号八十里越。開通が期待され、地域に新たな賑わいと交流をもたらす八十里越についてお伝えします。



工事の経過



昭和61年度	事業化
平成元年度	工事着手
2年度	用地着手
10年度	8号トンネル 概成
14年度	11号トンネル、1号橋梁 概成
16年度	10号トンネル 概成
19年度	5号トンネル 概成
21年度	8号橋梁 概成
24年度	9号トンネル 概成
25年度	4号橋梁 概成 「八十里越体感バス」運行スタート
28年度	7号トンネル 概成
30年度	7号橋梁、6号トンネル、2号橋梁 概成
令和元年度	1号トンネル、3号橋梁 概成
2年度	6号橋梁 概成
3年度	2号トンネル、3号トンネル 概成
4年度	4号トンネル、A橋梁、5号橋梁 概成

*概成とは、橋梁やトンネルの本体部分が完成している状況であるが、一般車両はまだ通行できない状況。
*橋梁とは橋のことで、橋脚とは橋梁の上部構造を支える脚のこと。

八十里越とは

三条市と福島県只見町を結ぶ越後山脈を越える峠道です。8里（約32キロメートル）の道が10倍に感じられたほどの険しい道ですが、江戸時代から明治、大正頃までは物資の輸送などに大勢の人が利用し、地域ににぎわいをもたらしていました。その後、昭和45年に国道289号（新潟市～福島県いわき市）に指定されましたが、現在も自動車の通れる道路がないため、その開通が強く期待されています。現在、国土交通省、新潟県、福島県が共同で建設を進めています。

